

東海大学医学部附属八王子病院では、
受診時に患者さんから得られた診療情報等を使用して
下記の臨床研究を行っています。

下記臨床研究は「東海大学医学部 臨床研究審査委員会」にて病院長の承認を得て実施しています。
当該診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化处理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

【研究課題名】

高密度焦点式超音波治療(HIFU)後の生化学的再発前立腺癌に対する救済放射線外照射治療の安全性に関する検討

【研究の目的】

下記の診療情報等を利用し、高密度焦点式超音波治療後に生化学的に再発した前立腺癌に対する放射線治療の安全性を解明することを目的としています。

【研究の対象となる方】

2000年4月1日 から 2020年12月31日 までの間に、
当院の放射線治療科で前立腺癌について放射線治療を受けられた方です。

【利用期間（研究実施期間）】

臨床研究審査委員会承認日 から 2022年3月31日 まで

【研究に用いる診療情報等の項目】

・診療情報等：初発時の年齢、初発時の前立腺体積、初発時の前立腺癌の TNM 分類、初発時の PSA 値、初発時の Gleason's score、初回 HIFU の施行日、施行した HIFU の回数、HIFU 後再発を指摘されるまでの PSA 値の推移、HIFU 後再発診断時の Gleason's score、HIFU 後の有害事象、放射線治療を行う直前のホルモン治療の有無、放射線治療を行う前の前立腺体積、放射線治療を施行した際の年齢、施行した放射線治療の照射方法および線量分割、生物学的等価線量に変換した照射線量、放射線治療後の PSA 値の推移、放射線治療後の有害事象、放射線治療後の外来通院期間、放射線治療後再発と診断されるまでの期間

【利益相反に関する事項】

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため利益相反はありません。

【問い合わせ先】

東海大学医学部附属八王子病院 （電話：代表 042-639-1111 内線：5117）

研究責任者 放射線治療科 秋庭 健志

問い合わせ担当者 放射線治療科 黒木 俊寿